

2022

年次レポート

SOCIAL BUSINESS NETWORK



一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク

<http://socialbusiness-net.com/>

info@socialbusiness-net.com

代表理事からのご挨拶

いつも「ソーシャルビジネス・ネットワーク（SBN）」をご支援頂き、ありがとうございます。SBNは第2期の2年目を迎え、新たな趣意書の内容をより具体的な活動のカタチに移していく段階を迎えています。

世の中はコロナ禍の終息を迎えたかのような安心感を持ちつつ、いつまでもマスクを外せない不信感も同居しつつある状況のように見えます。戦争による国際情勢の不安定化は物価高などの生活の不安感も増し、政府による「新しい資本主義」政策も意図の迷走化と合わせ、十分な成果を見出せずにいるように感じます。

昨年7月に開催した第2回「新たな社会経済システム研究会」では、京都大学の広井良典教授（弊団体アドバイザーに就任）方と共に、「ポスト資本主義社会とソーシャルビジネスの役割」をテーマに、我々が考える新しい資本主義のあり方やその先について議論しました。

広井教授はこの間、人間が共に人間的になっていくための希望の生の様式を問う「人の資本主義」を研究するプロジェクトに一緒にされながら、資本主義を突破するには、再分配・相互扶助・交換や経済・福祉・環境、効率性・分配公正性・持続可能性といった組み合わせの望ましいあり方を示すことが必要との見解を示されました。

そのためには、ソーシャルビジネスやアソシエーション、コミュニティ経済といった要素を企業や経済活動の中に組み込んでいくことが必要で、それが定常社会をベースにいきすぎた資本主義の守備範囲の拡大に対する人間側からのカウンターではないかといった意図も導いています。

我々は第2期趣意書のビジョンとして下記の内容を謳っており、是非、「人の資本主義」の実践としても、具体的な活動に活かしていければと考えています。

「ソーシャルビジネスは、有限な自然環境や未来も含む他者の豊かさへの適応を手段ではなく目的とする、内発的な共感や信頼による利他的でフェアな“倫理”を行動動機とし、“なつかしい未来”を志向して互酬的にシェアする新・交換様式と、循環型で自律分散的なコモンズとしての新・コミュニティ様式に基づき、多様な社会的課題の解決を多彩な生活-文化の中で公正に再・価値化する「倫理的経済」を実践する、共同（協働）自助的、創発的な社会的生産-サービス-消費サイクル（縁）事業として、新たな社会経済における“希望”の生業になると考える。」

そのような考え方を踏まえ、今年度の具体的な活動としてはまず、この3年間の中心的事業の位置付けで就職氷河期世代就職支援事業として静岡市で実施してきた「ライフデザイン」事業を継続し、それを他地域や他組織で水平展開すべくプロデュースしていくことを目指します。この事業が意図する、「誰もが何度でも人生の物語による再編集/再設計を図ることにより、今の自分のままで人生に自身を持てるような想いを言語化と対話を通して形づくり、誰にも居場所と出番がある未来を描ける」という思想は、倫理的経済の希望になり得る生業の一つの様式とも考えられます。

また、その思想の流れも汲み、人間が共に人間的になるべく、多様な社会的課題の解決を多彩な生活-文化の中で公正に再・価値化できるような学び直し・学び合いができるようナカレント教育にも取り組みます。政府（文科省）も意図する人生100年時代に望まれるライフシフト/ワークシフトの取組みを、この間進めてきた「シフトラボ事業」の展開としてもカタチにすべく、人生の再・価値化としての社会的就労/社会的参画が実践できる“ソーシャル・イノベーション人材”が育つ共創/協働の場を、プラットフォーム/アソシエーションとして連携・協力団体と共に築きます。

加えて、陸前高田にて10年以上取り組んできた、人を誰ひとり取り残さないユニバーサル発想に基づく、“ユニバーサル・タウン”としての「発酵パークCAMOCY」の持続可能な展開、及び昨年度に経産省補助事業として実施した、各地の就労困難者をIT就労によって支える「ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス事業」の継続的な開発・推進にもチャレンジしていきます。

さらに、弊団体の設立当初からのミッションの一つでもある、ソーシャルビジネス支援のサードセクター（中間団体）・アソシエーションとなる、各地のソーシャル・インキュベーション組織の自律化が可能な新たなモデル化・実践と、若きソーシャル・インキュベーターの育成が図れるネットワーキングによる、人間的に豊かな生活-文化を共創できる“ヒト・コト・マチ（コミュニティ）”づくりにもチャレンジします。

人・人間の生の様式を問うことは、今の世の中で最大の影の社会的課題である“こころ”の問題にも踏み込むことになります。“ライフデザイン”、“ユニバーサル”、“ソーシャル・イノベーション/インキュベーション”…新たな理想ともなり得る理念はさらなる高い壁も現前させます。それでも何とかチャレンジとしてのカウンターを放つべく、みなさまの力を「ソーシャルビジネス・ネットワーク」にお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。



一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク
代表理事 町野弘明

2022年度事業報告／2023年度事業計画

新たな社会経済システム/モデルやその実践に関するビジョン等の研究・学び・広報・提言

新たな社会経済システム研究会 第2回、第3回の開催

第二期趣意書で設定した以下の考え方に基づく研究会を熊野英介特別顧問を研究長として開催した。2023年度も引き続き、総会や理事会開催にあわせ研究会を開催する。

【新たな社会経済システム研究会の考え方】
この間のCSR・CSVからSDGs等の社会的責任を巡るコンセプトの変遷も視野に入れながら、ソーシャルビジネスの新たな考え方/思想や定義を踏まえ、現在社会の危機的状況を乗り越え、資本主義の経済成長のみを目的としない課題も克服できる新たな“理想”ともなり得る理念と、それを踏まえた社会経済システム/モデル、その実践のビジョンやミッションを新たに研究、学び、共有し、更に広報、啓発、提言を図る。

【第2回】

- タイトル：ポスト資本主義社会とソーシャルビジネスの役割
- 開催日時：2022年7月1日 18:30-20:40
- 開催場所：3×3 Lab Future（大手町）およびオンライン
- 参加費：無料
- 主催：一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク
- 協力：エコツェリア協会（一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会）
- 開催概要：
 - 基調講演 広井 良典 氏（京都大学こころの未来研究センター教授）
 - パネルディスカッション
 - パネラー：
 - 広井 良典 氏（京都大学こころの未来研究センター教授）
 - 熊野 英介 特別顧問
 - 富山 泰庸 理事
 - モデレーター：町野 弘明 代表理事



【第3回】

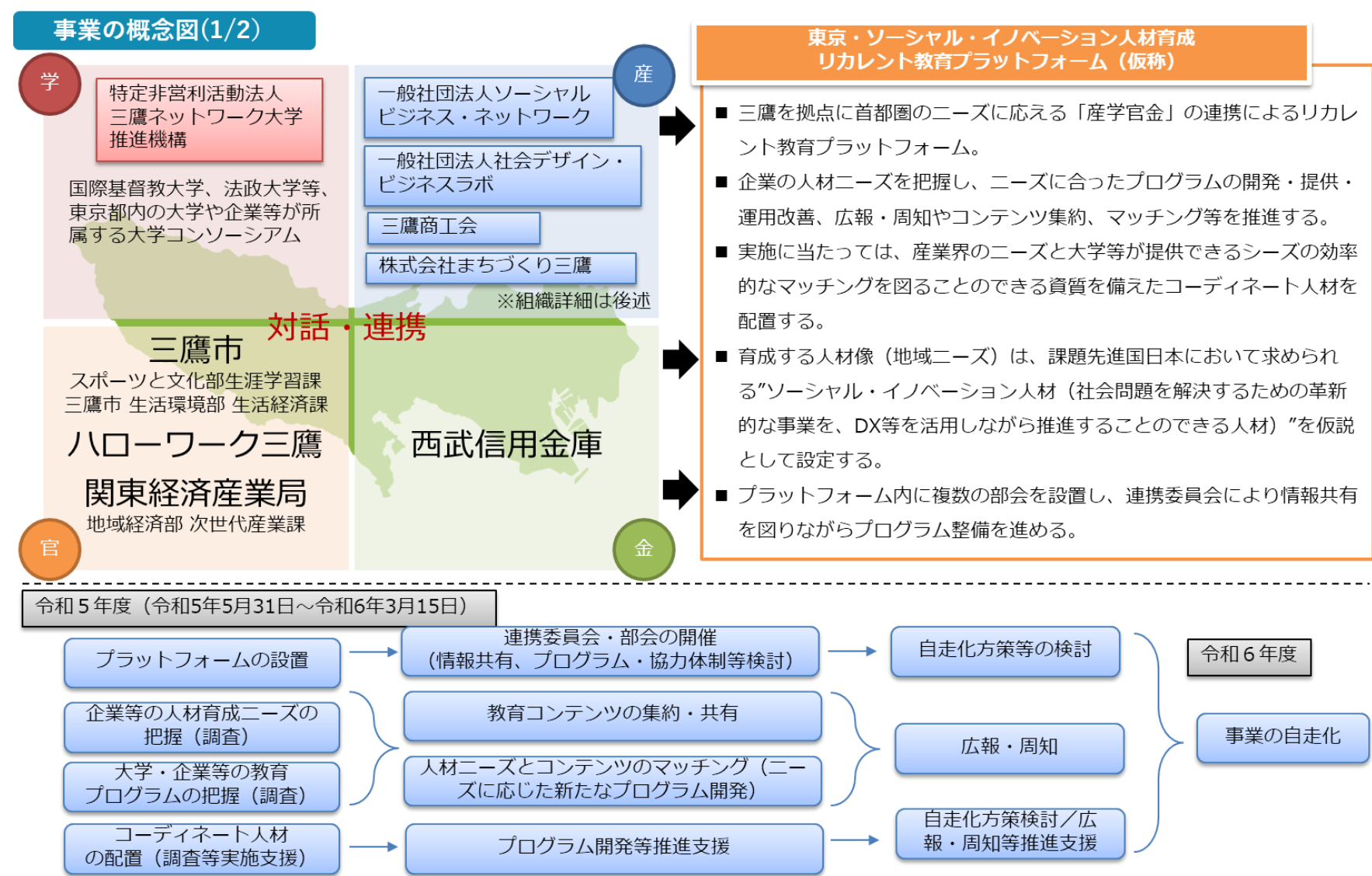
- タイトル：Bコーポレーションがソーシャルビジネス事業者に及ぼすインパクト～ファーマンステーションのケースに学ぶ～
- 開催日時：2023年 2月 21日 (火曜日)18:30-20:30
- 開催場所：3×3 Lab Future（大手町）およびオンライン
- 参加費：無料
- 主催：一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク
- 協力：エコツェリア協会（一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会）
- 開催概要：
 - いち早く認証を取得した酒井 里奈フェロー（株式会社ファーマンステーション 代表）をお招きし、Bコーポレーションとは何か、取得のメリットや取得方法等についてお話をうかがった。



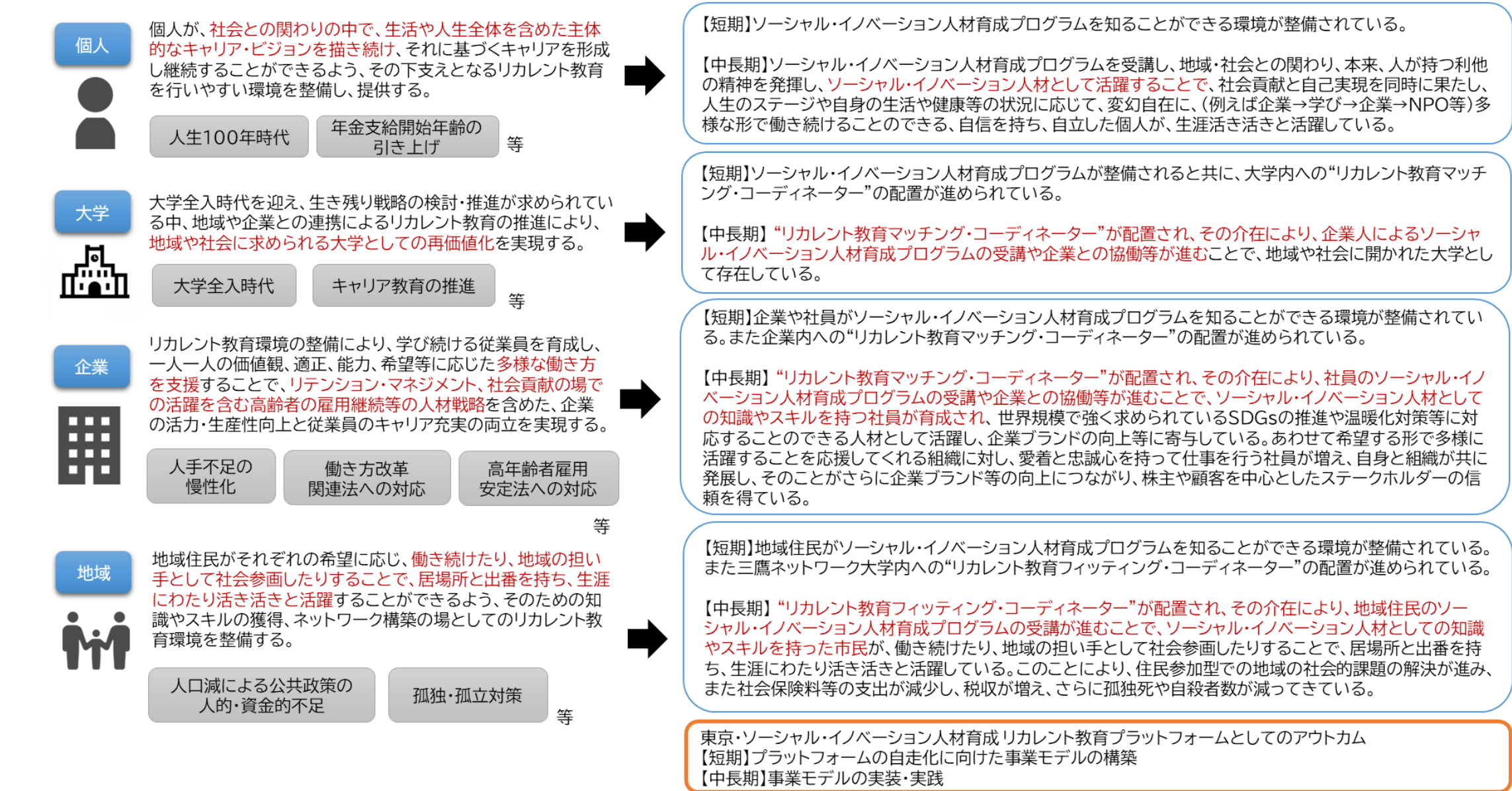
ソーシャルビジネス/プロデュース人材育成...次世代育成（SDG s /ソーシャルビジネス教育）の推進

①「ソーシャル・イノベーション人材育成 リカレント教育プラットフォーム」構築事業の展開

三鷹を拠点に、東京を中心とした首都圏のニーズに応える「産学官金」連携によるリカレント教育プラットフォームを構築する事業。高橋一郎フェローが理事長を務める西武信用金庫を中心に、SBNの会員組織の協力を得て、非営利活動法人三鷹ネットワーク大学、一般社団法人社会デザインビジネス・ラボ（理事長：中村陽一 常任顧問）の三社で事業推進を図る。本事業は文部科学省「令和4年度 地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」の補助を受けて事業展開を行う。
【実施概要※令和5年6月時点での想定】



本事業が目指すこと



②「[ソーシャルビジネス マネジメント・アーカイブス](#)」の構築

ソーシャルビジネスの分野で起業を考えている層、かつビジネス経験がないあるいは経験値の低い層に対し、ビジネスや経営に関する知識及び手法を提供し、ソーシャルビジネス業界全体の拡がりに寄与することを意図し、岩坂健志 常任顧問の発案により、岩坂氏がこれまで蓄積してきたソーシャルビジネス経営学基礎等の講座動画をライブラリを「ソーシャルビジネス マネジメント・アーカイブス」として構築。ソーシャルビジネス人材育成を意図し公開を開始した。2023年も継続的な提供を図る。

■ライブラリーの柱

- (1) ソーシャルビジネスを考える
- (2) ソーシャルビジネス経営
- (3) キャリア形成

ソーシャルビジネス・マネジメント・アーカイブス

ソーシャルビジネスを考える



企業の社会的責任 (67分1秒)

企業の社会的責任とは、本業を通してステークホルダーに貢献し、持続可能な社会（現在・未来）を実現することです。過去に遡って歴史を振り返りながら、企業の存在意義や責任について理解を深めます。

人と社会の幸福を考える (46分1秒)

会社の存在意義は「人々（ステークホルダー）に貢献する」ことにあります。そのためにまず、私たち自身が幸せでなければならず、また人々や社会の幸福を理解する必要があります。個人の幸福について、社会の幸福について、様々な角度から解説します。

ビジネスによる社会的課題の解決 (76分46秒)

③ソーシャル・インキュベーション組織／ソーシャル・インキュベーター人材育成事業の展開

地域のソーシャル・アントレプレナーを育むソーシャル・インキュベーターとしての組織や人材育成支援事業の展開を意図し、石田達也 理事と事務局等による検討を図ってきた。

地域のNPOやソーシャルビジネス等支援組織、またその予備軍がソーシャル・インキュベーターとしての組織や人材として活躍していく姿を想定し、それらの組織や人材が、実際にいくつかのソーシャルビジネス事業者の支援を行いながらソーシャル・インキュベーターとして機能していくよう、SBN会員の知見やノウハウ等によるハンズオン支援を行っていく事業モデルを想定。シーズマネーとして外部資金を活用する形で、まずは3-5団体程度のインキュベーター候補組織の支援を行うこと目指している。2023年度も引き続き事業開発を進める。

社会事業家100人インタビュー

川北秀人 理事が代表を務めるIIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]の協働事業として開催する、先輩社会事業家からビジネスモデルを学ぶための連続対話型講座。第65回まで開催した後、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催を見合わせてきた。状況の安定に伴い対面での開催も検討したが、多くの方にお聞きいただきたいという観点から、2023年度よりオンラインにてリスタートすることとした。

■ 第66回：2023年6月14日(水)18:30-20:00：（特）都岐沙羅（つきさら）パートナーズセンターの斎藤 主税 氏

■ 第67回：2023年6月15日(木)18:30-20:00：（特）ほほえみの郷トイトイの高田 新一郎氏

上記2回の開催は、小規模多機能自治推進ネットワーク会議主催連続オンライン勉強会「初夏の陣～小規模多機能自治インタビュー＆課題共有／解決研修」との共同開催とする。

今後も継続的な開催に向けて計画を進めている。



ソーシャルビジネス白書

川北秀人 理事の発案のもと、政策提言（アドボカシー活動）として、「ソーシャルビジネス白書」を発行すべく、川北 理事を編集長に、中村陽一 常任顧問（委員長）、町野弘明 代表理事を委員とした委員会を形成。ソーシャルビジネスに関する実態調査（回答数131団体）の結果をもとに2019年6月「ソーシャルビジネス白書」（0号）を発行。今年度は社会的企業家へのインタビューを含めた第1号の発行を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により計画通りの推進に至らなかった。引き続き状況を鑑み、推進を検討する。

ソーシャル・プロデュース事業の展開と新たな開発

「ユニバーサル・タウン」事業（陸前高田市）

「発酵パーク CAMOCY」や「ユニバーサル就労支援センター」、「生命循環産業振興」等のテーマによる新たな地域ブランド化の推進等を図る、“誰にも居場所と出番がある”持続可能な創造的復興のまち「ユニバーサル・タウン」（陸前高田市）展開

①「ユニバーサル・タウン陸前高田」創造事業～雇用の受け皿、発酵パークCAMOCYの推進

「発酵パークCAMOCY」の運営会社である(株)醸（カモシー～社長：田村満 常任顧問、取締役：河野通洋 理事）による事業推進に関わりながら、経営企画や営業企画でのサポートや東京・その他地域とのコーディネートなど、継続的にプロデュース推進を行った。

②東京丸の内と連携した地場産品ブランド化推進事業・基本方針策定業務、および展開業務

昨年度に続き、戦略的なコンセプト構築と戦術的な展開、また再現可能性のある展開として持続的にトータルプロデュースが可能な協働型のプラットフォーム形成を図るべく勉強会を行った。

[勉強会実施概要]

- ・タイトル：「陸前高田のまちづくりの考え方をふまえた戦略的なブランドづくり勉強会」
- ・主旨：陸前高田のブランドづくりの今後の展開を考えるための勉強会
- ・第1回：2022年5月27日@ワタミオーガニックランド（オーガニックランド視察、エコツェリア協会田口真司氏によるミニ講演「丸の内のトレンドについて」、陸前高田のまちブランドのコンセプトに関する意見交換、令和4年度第2次農林水産省農山漁村振興交付金申請についての説明、意見交換）
- ・第2回：2022年10月3日@陸前高田市民文化会館（令和4年度第2次農林水産省農山漁村振興交付金申請結果について、「循環型地域づくり推進協議会」との連携について、牡蠣の加工商品開発について）
- ・第3回：2022年12月14日@陸前高田市発酵パークCAMOCY（CAMOCY内見学、ロット(株)代表取締役富山泰庸氏によるレクチャー、陸前高田のまちブランドのコンセプトに関する意見交換、令和5年度第1次農林水産省農山漁村振興交付金申請についての意見交換）
- ・参加者：河野通洋 理事、中村正明 常任顧問、小出浩平フェロー、陸前高田市地域振興部商政課 遠野正隆氏 菊池遼馬氏、(株)タイム缶詰 代表取締役 吉田和生氏、（一社）ピーカン農業未来研究所 理事 大林孝典氏、食と農の森 松本玄太氏、陸前高田観光物産協会・大林まい子氏



③東京丸の内のターゲットを捉えた商品開発について

2022年6月22日より「日本のご馳走”えん”（新丸ビル）」にて陸前高田市の地場産品を活かした商品「ハーモニー」と「なべやき」の販売を開始した。（現在、販売休止中。）
また陸前高田市においては、今後の市内展開を視野に、陸前高田市内菓子店、ベーカリーとコラボしたハーモニー4種と併せて、産業まつり（10月22-23日開催）にて販売を行った。



④東京農業大学・ワタミグループ連携推進事業

中村正明 常任顧問や小出浩平フェローを中心に、東京農大とワタミグループとの連携協定やオーガニックランドの展開を踏まえ、健康食材としての商品開発などをテーマにした具体的な取組みについて、更なるプロデュース推進を行った。

⑤「6次化デザイン・ラボ（仮称）」組成

活動ユニットの創発による連合/連帯組織形成の観点から、中村正明 常任顧問を中心に、東京農大やそのOB人材とコラボレーションし、「生命循環産業振興」などのテーマにより、6次産業化のコンサルティングや事業化サポートを行う「6次化デザイン・ラボ（仮称）」の組成を、「生命環境開発協議会」というプラットフォームとして実現する取り組みを、補助金等を活用すべく検討している。

「ライフデザイン・ビレッジ」事業（静岡市）

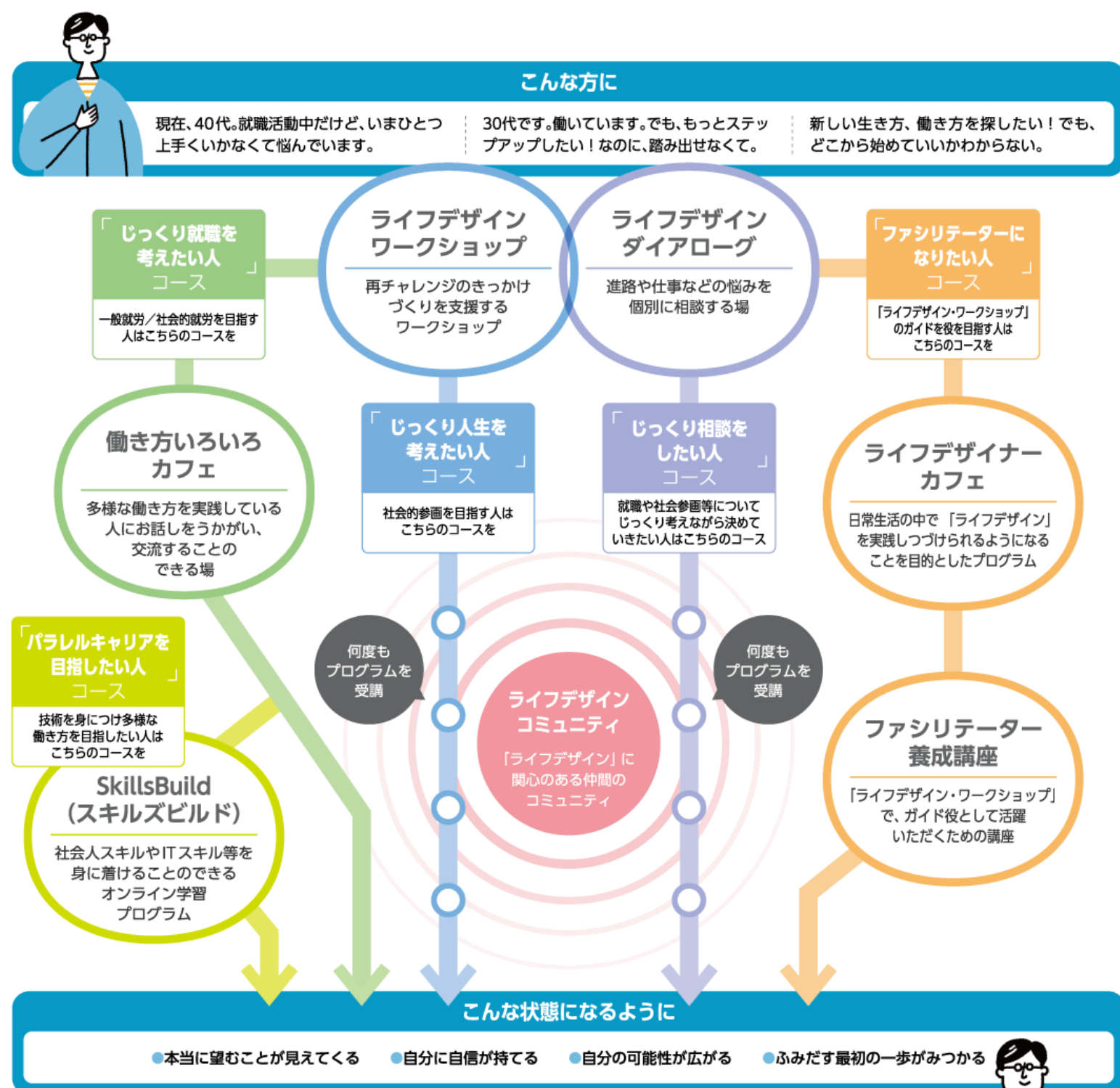
就職氷河期世代の再チャレンジ支援を「ライフデザイン法」やIT教育プログラム等によって推進する、誰もが人生の再編集/再設計を図ることにより未来を描けるまち「ライフデザイン・ビレッジ」（静岡市）展開

加藤康之 顧問、梅本達夫アドバイザー、臼井清アドバイザーの協力のもと、内閣府「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」事業を展開。就職氷河期世代に対して、望まれるダイバーシティ社会に即した新たなキャリアデザインの考え方による「ライフデザイン静岡市」事業を展開。

「もう一度、人生をデザインしよう～誰もが何度でも自分のままで再チャレンジできるまち、静岡」をコンセプトに、ハローワークや地域若者サポートステーション等、静岡市内の就職氷河期支援に関わるオール・プレイヤー連携プラットフォームを構築すると共に、自己分析や可能性探求を行うことのできる「ライフデザイン・ワークショップ」を中心に様々な事業を展開した。内閣府「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」事業としては2022年度で終了し、2023年度は市の事業として「ライフデザイン・ワークショップ・ファシリテーター養成講座」、「ライフデザイン・ダイアログ」等の実施支援を行う。また、他地域、他組織での実施を意図した水平展開の取組みも進める。

[「ライフデザイン静岡市」ホームページ](#)

[「ライフデザイン静岡市」募集チラシ](#)



ファシリテーター養成講座 実施の様子

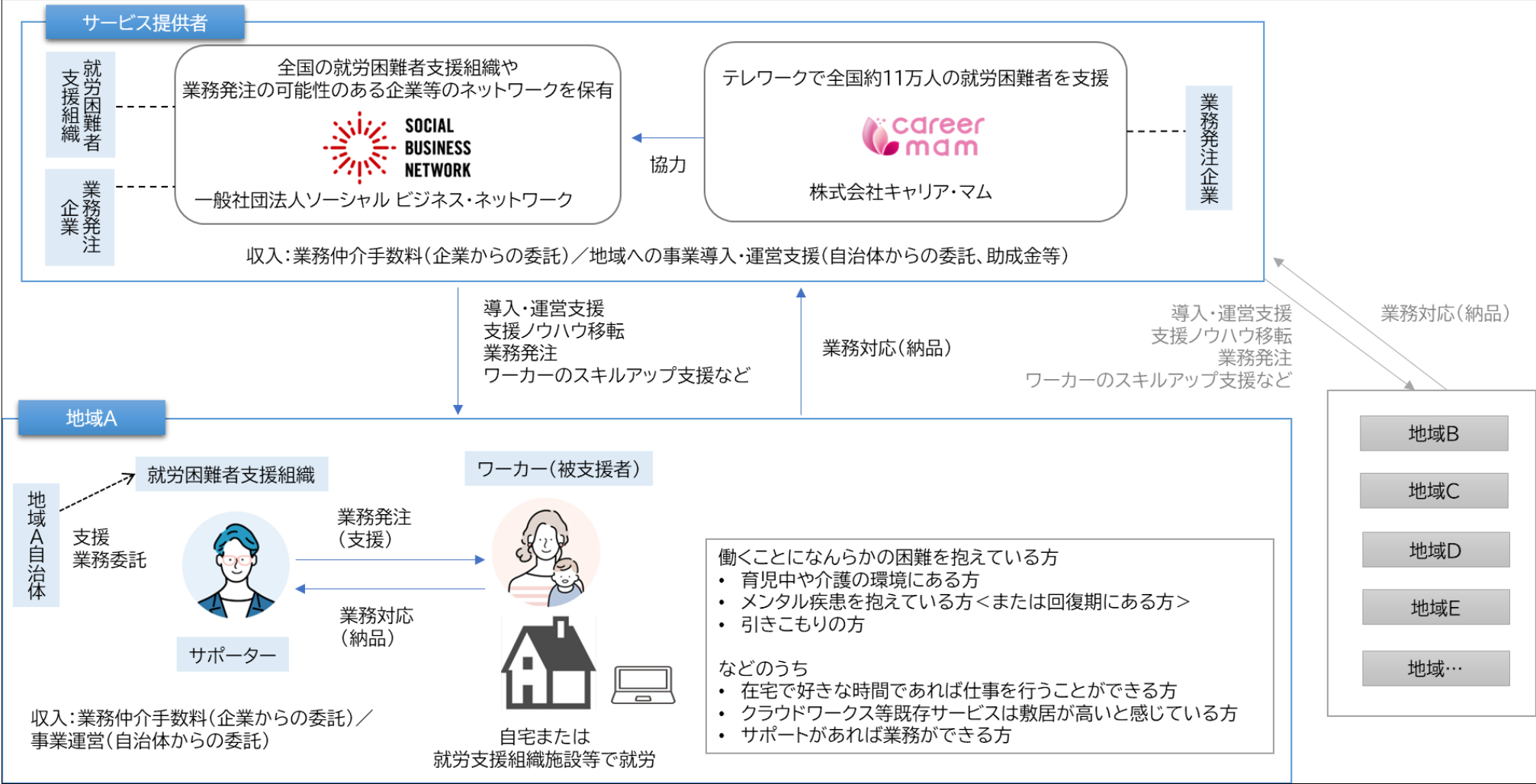
就労支援事業

①「ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス」事業

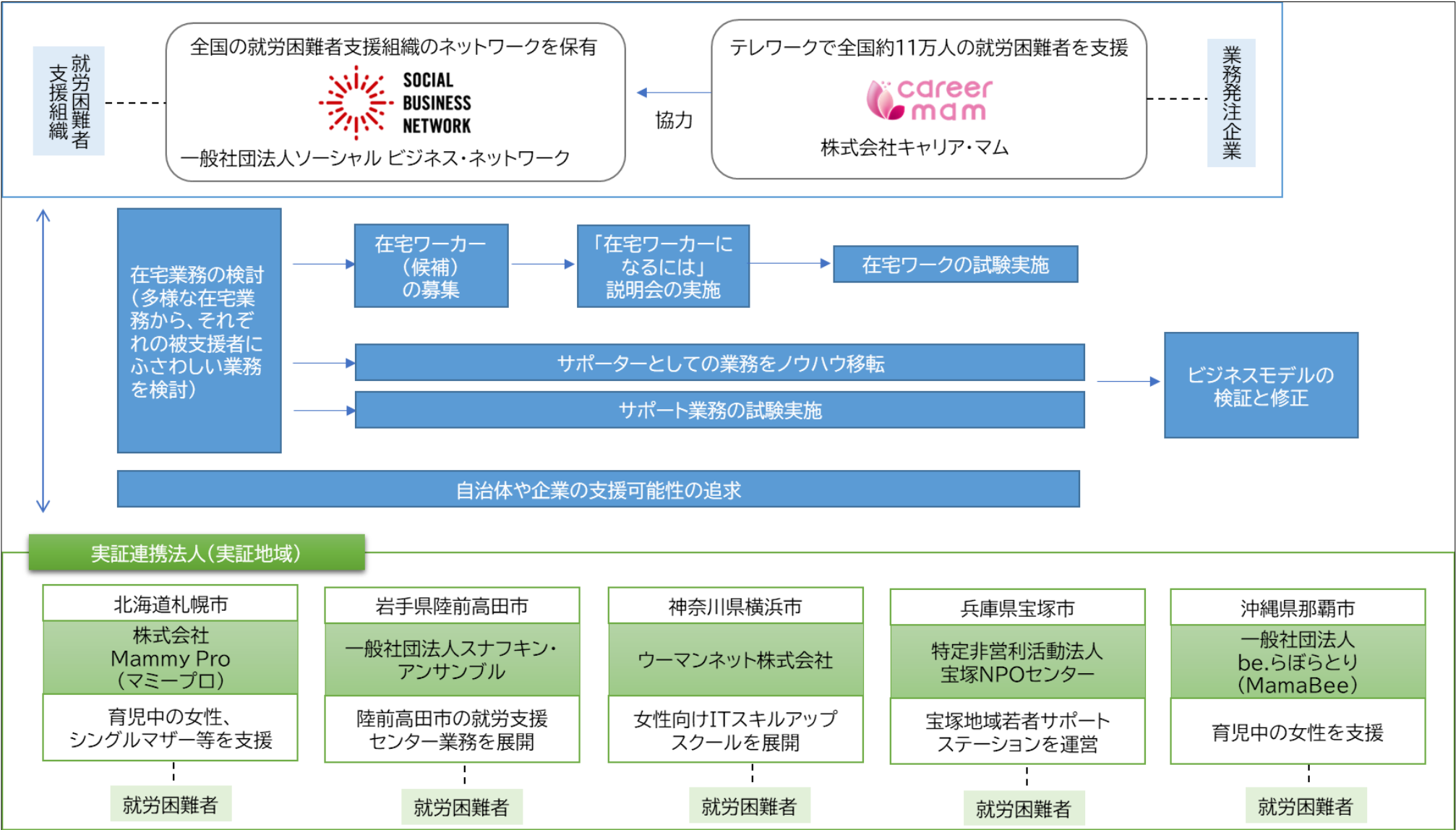
障がいや生きづらさを抱えていたり、育児や介護の環境にあったりと、どんな環境にあっても、誰もが自分の住んでいるところで働くことができる社会の実現を目的とし、全国の就労支援組織と連携することによる、サポーターを介した「クラウドソーシング」サービスの提供に関する検討を、堤香苗理事等との検討により行った。2022年度は経産省「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」を活用した事業開発を図った。2023年度は、発注先と企業開発や事業運営の効率化を図ることを目的とし、引き続き事業開発を行う。

[「ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス」ホームページ](#)

【事業モデル】



【実証実験の概要】





「ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス」事業展開の様子

②SkillsBuild事業

日本IBMからのグランツにより、スキルアップやキャリアアップに意欲のある女性、就職氷河期世代の方々、コロナ禍において、働く上で影響を受けている方々を対象とし、ITスキルを身に着けることによる再就職を支援する、オンラインラーニングプログラムの提供、社員による個別サポート等を行う事業「IBM SkillsBuildプロジェクト」を2019年より継続展開している。

【運営パートナー】
株式会社キャリア・ママ／株式会社ゼネラルパートナーズ／株式会社リヴァ／ウーマンネット株式会社／特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター／陸前高田市ユニバーサル就労支援センター（公益財団法人 共生地域創造財団）／NPO法人札幌チャレンジド／認定NPO法人 宝塚NPOセンター／公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会／NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ／特定非営利活動法人 宮崎文化本舗／株式会社MammyPro／株式会社ゲーニーズグループ 他

企業の研究開発等への協力

利他性に基づく社会参画促進のあり方に関する研究

東京大学大学院 情報学環との協働により2018年より継続展開している研究事業。2022年度は中村陽一常任顧問が理事を務める一般社団法人社会デザインビジネス・ラボの協力のもと、事業仮説を検討するワークショップを実施した。2023年度は杉浦裕樹フェローとの連携による横浜市での「リビング・ラボ」の取り組み他、各種フィールドワーク通じた事業化検討を進める。



ワークショップ実施の様子

多様な活動ユニット/コミュニティの創発による連合/連帯組織形成の展開とシナジー事業等の新たな組成

「社会デザイン・ビジネスラボ」との連携展開...JSOL社ほかとのコラボレーション

中村陽一 常任顧問と株式会社JSOLを中心に、2019年月12日に設立した、社会課題解決と新規ビジネスを創出する研究会「社会デザイン・ビジネスラボ」からの依頼により、ソーシャルビジネス開発に関するネットワーキングやアドバイスを行った。2022年4月21日に一般社団法人の設立総会が開かれ、6月に登記申請、中村陽一常任顧問が代表理事に、町野弘明代表理事が常務理事に就任し、ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス等での協働/共創を進めている。

【主な事業内容】社会課題をテーマにした参加型イベントの開催

- テーマ研究会
2022年10月 5日 サステナビリティ、パーパス、ウェルビーイングをテーマに渋谷QWS（渋谷）にて開催
2022年12月 1日 サーキュラーエコノミーをテーマにオンラインにて開催
2022年12月 7日 宇宙での生活 と 社会課題をテーマにx-nihonbashi（日本橋）にて開催
2023年 1月30日 フードロス进行テーマにhoops link tokyo（渋谷）にて開催
2023年 2月26日 社会デザインとDXをテーマに神奈川大学にて開催
2023年 3月 5日 DSXリカレント教育をテーマに神奈川大学にて開催
- 事業化/組織化推進
活動ユニットの創発による連合/連帯組織形成の観点から、プラットフォームとしての公益法人化への協力を前提に、公的資金などのシーズマネー獲得によるフラッグシップ・プロジェクトの開発など、連携推進を行う。



「自然エネルギーシフト・コミュニティ」の活動展開

担当である鈴木亨 理事を中心に、小出浩平フェロー、大場龍夫フェローと共に、プロジェクト・プロデュース型で地域案件をベースに展開を推進。今年度は「陸前高田市の自然エネルギーシフトを推進するためにできることはなにか」をテーマとした勉強会をオンラインにて開催している。

- 第1回：2022年4月20日 陸前高田しみんエネルギー 大林孝典 氏
- 第2回：2022年5月28日 陸前高田・長谷川建設 社長 長谷川順一 氏
- 第3回：2022年8月29日 環境コンサルタント 村上敦氏、田村満 常任顧問
- 第4回：2022年12月20日 鈴木亨 理事
- 第5回：2023年4月17日 上田昌文 氏（NPO法人市民科学研究室（代表理事）、小出浩平 フェロー
- 第6回：2023年5月8日-9日 陸前高田にて、小水力発電河川調査 町野弘明 代表理事、鈴木亨 理事、服部直子 フェロー

（開催時間：18：30～20：30 ※第6回の調査を除く）



丸の内プラチナ大学

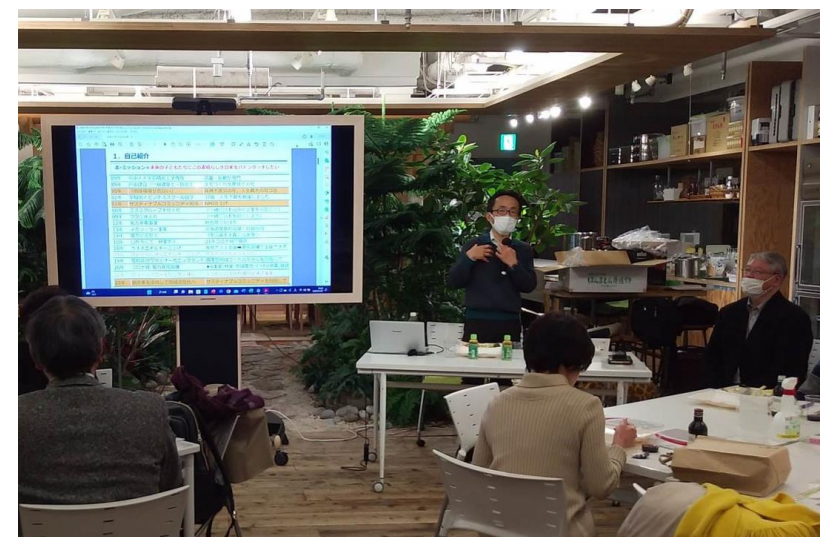
2016年より展開している丸の内のビジネスパーソンを対象としたキャリア講座。社会的課題解決をテーマとした様々な講座を展開。一般社団法人エコツェリア協会、三菱総合研究所プラチナ社会研究所（三菱地所株式会社、他）、一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワークの三社で運営。SBNは、未来志向型ビジネスや、新しい生き方・働き方を実践するソーシャル・アントレプレナーと語り合う「Social SHIFTテーブル・コース」、企業におけるSDGs手法を実践的に学ぶことのできる「SDGs 経営実践コース」の2つの連続講座を提供。2022年度は3年ぶりに会場での展開となった。2023年度も継続展開を予定している。

【Social SHIFTテーブル・コース】

- ・ テーマ：次世代のためにソーシャルビジネスは何ができるのか
- ・ 開催時間：18:30-20:00
- ・ 開催日、ゲスト講師：
 - ・ 第1回）2022年9月30日：平野覚治さん（一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事）
 - ・ 第2回）2022年10月7日：森由美子さん（特定非営利活動法人パンゲア 理事長）
 - ・ 第3回）2022年11月4日：堤香苗 理事
 - ・ 第4回）2023年1月27日：小出浩平フェロー
- ・ モデレーター：町野弘明 代表理事、石井綾 事務局長

【SDGs 経営実践コース】

- ・ 講師：笹谷秀光 氏（千葉商科大学教授、株式会社伊藤園 元取締役、日本経営倫理会理事、グローバルビジネス学会理事、サステナビリティ日本フォーラム理事）
- ・ 開催時間：18:30-20:30
- ・ 開催日：2022年8月31日、9月22日、10月13日、11月24日、12月1日



Social SHIFTテーブル・コース 第4回開催の様子

各種イベントの共催・協賛

①サス研Webサロンでの登壇

小出浩平 フェローからの声かけにより以下のイベントで町野弘明 代表理事が登壇した。

- ・ 名称：社会課題と向き合った20年の取り組み
- ・ 主催：特定非営利活動法人サステナブルコミュニティー研究所
- ・ 日時：2022年8月2日（火）19：00～21：00

②一般社団法人 社会デザイン・ビジネスラボ 設立記念 オープニングイベントでの登壇

中村陽一 常任顧問からの声かけにより以下のイベントで石井綾 事務局長が登壇した。

- ・ 名称：社会課題解決と事業創造キックオフ
- ・ 主催：一般社団法人 社会デザイン・ビジネスラボ
- ・ 日時：2022年9月2日（金）16:00-18:00



一般社団法人 社会デザイン・ビジネスラボ 設立記念
オープニングイベントでの登壇の様子

③「未来まちづくりフォーラム」でのセッションのプロデュース

「未来まちづくりフォーラム」で町野弘明 代表理事がプロデュースするセッションで篠原 稔和 フェローがファシリテーションを行った。

- ・ 名称：DXによる次世代まちづくり～スーパーシティとインフラ整備
- ・ 主催：未来まちづくりフォーラム実行委員会（SBNとして参画し、町野弘明 代表理事が実行委員を務める。）
- ・ 日時：2023年2月15日（水）14:00-15:15

組織運営報告・組織運営計画

1. 会員について
- 会員 A：3社、法人会員B：9社、個人会員25口という状況であった。
- 会費に加え、講座やイベント等での登壇や人材紹介、会場提供等、様々なファシリティ提供や協力を得た。
2. 広報・PR
- ホームページのリニューアルを行い2022年7月末公開した。活動紹介のページ等の充実を図った。
- あわせて引き続き、メーリングリストやフェイスブック等での情報発信を行ってきた。

【リニューアルサイト・デザイン】



3. 定例会議
- 計画に基づき定例会議を開催した。

【開催日程】

	開催日時 (開催場所)	議題	参加者 (定足数)
理事会	2023年2月21日（火） 16:00-18:00 (3×3 Lab Future 大手町 及びオンライン)	第 1 号議案：人事について 令和4年度事業中間報告	理事18名中、出席11名、委任2名、計13名
理事会	2023年6月20日（火） 17:15-17:45 (3×3 Lab Future 大手町 及びオンライン)	第1号議案：定款変更について 令和 4 年度事業活動報告 令和 4 年度事業収支報告 令和 5 年度事業活動計画 令和 5 年度事業収支計画	社員132名中、出席25名、委任42名、計67名
社員総会	2023年6月20日（火） 17:15-17:45 (3×3 Lab Future 大手町 及びオンライン)	第1号議案：人事について 第2号議案：定款変更について 第3号議案：令和 4 年度事業活動報告 第4号議案：令和 4 年度事業収支報告 第5号議案：令和 5 年度事業活動計画 第6号議案：令和 5 年度事業収支計画	理事18名中、出席8名、委任5名、計13名